

科目名	沖縄高専セミナー				英文表記	ONCT Seminar		平成26年3月14日		
科目コード	1016									
教員名:機械【山城(光)、鳥羽、安里】、情報【杉本、兼城】、メディア【鈴木、玉城、ダンスリヤボン】、生物【三宮、嶽本】								作成		
技術職員名:比嘉修、渡邊										
対象学科／専攻コース					学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間
全学科					1年	必	履修	2単位	講義	前期
科目目標	①多角的視点と興味をもって積極的に授業に参加すること ②PBLによる授業・演習・実習などを通して、目的に応じた種々の情報を収集することができる ③工学が関わってる数々の事象について、情報を収集することができる									
総合評価	第1週目(ミニ概論)レポート(5%), 企業見学会レポート(10%), 各学科担当授業での評価(85%)を合計した 点数(100点満点)により評価する.									
科目目標達成度とJABEE目標との対応	科目達成度目標(対応するJABEE教育目標)					達成度目標の評価方法			目標割合	
	①	各学科の概要と施設見学会をとおして, 専門分野の位置づけと考え方について理解を深める。				⇒	①ミニ概論レポート(5%)			5%
	②	各専門学科に関連する身近な商品(工業製品)の考え方を学び, 技術に対する幅広い興味と視点を醸成し, 授業の位置づけと意義を理解する。				⇒	②各学科固有技術に関するレポート・発表(85%)			85%
	③	企業見学(現地調査)を通じて県内主要企業の活動を理解する。				⇒	③企業見学レポート(10%)			10%
	④	PBL授業を通じて自己学習力, 発表能力を身につける。				⇒	④上記②に含む			
本科・専攻科教育目標	1	2	3	4						
		◎		○						
評価方法と評価項目および関連目標に対する評価割合										
	目標との関連		定期試験	小テスト	レポート	その他(演習課題・発表・実技・成果物等)	総合評価	セルフチェック		
評価項目			0	5	85	10	100			
基礎的理解				5	50		55			
応用力(実践・専門・融合)					10		10			
社会性(プレゼン・コミュニケーション・PBL)					10		10			
主体的・継続的学修意欲					15	10	25			
授業概要、方針、履修上の注意	各専門学科で学ぶ授業科目の構成と概要を理解する。 各専門学科に関連する身近な商品を分解(一部は組立)または解析しながら, その構造と構成技術を理解する。 各自が興味を感じた技術を調査し, その結果を発表する。 異分野を含めた沖縄県の企業を調査・見学し, 社会構造と産業の実態を理解し, 幅広い視野を育成する。(＊各学級及び各学科同時開講方式)									
教科書・教材	各学科にて作成のテキスト、配布資料、電子ファイルなど									

授 業 計 画					
週	授 業 項 目	時間	授 業 内 容	自学自習 (予習・復習)内容	セルフ チェッ ク
1	全体ガイダンス(ミニ概論) エネルギー問題と次世代技術、機械制御とシステムの信頼性 (機械システム工学科, 全3週6コマ)	4	授業ガイダンスと各学科施設見学		
2		4	機械技術の進歩・変遷について解説した後、左記の		
3		4	授業項目を切り口に、これからの機械技術に何が求められているのか、体験学習を交えて考察します。授業内容についてレポート提出を求めるので、積極的に授業参加のこと		
4		4	・授業の狙い、従来カメラと情報機器としてのデジタルカメラの説明		
5	デジタルカメラの技術 (情報通信システム工学科, 全3週6コマ)	4	・デジタルカメラの構造と構成1(入力, 出力部)の講義、デジカメ実習		
6		4	・構成2(CPU, LSI, 画像処理部)の講義、技術調査、デジカメ実習		
7		4	・構成3(周辺装置)の講義、新商品の仕様書作成、デジカメ実習		
8		4	・発表準備、発表会、講評		
9	第1回企業調査, 見学 レポート作成	4	授業内容に関連する企業の事前調査と見学を行い、レポートを提出。		
10	情報を伝える技術 (メディア情報工学科, 全3週6コマ)	4	・授業の狙いの説明		
11		4	・コンテンツ制作、コンピュータの構成、インターネットの仕組みなど情報を伝えるための最新技術を理解する。		
12		4	・レポート作成		
13	生物の実験と観察 (生物資源工学科, 全3週6コマ)	4	・授業の狙いの説明		
14		4	・顕微鏡でミクロの世界に潜入する		
15		4	・高専内の植物を観察する(植物の形態・分類)		
16	第2回企業調査, 見学 レポート作成	4	・実験と観察の計画と方法:発表準備と発表		
17		4	授業内容に関連する企業の調査と見学を行い、レポートとして提出。		
18		4			
期末	期末試験	[2]	期末試験は実施しません。		
16	後期は実施しません				
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
期末	期末試験	[2]			
学習時間合計		60	実時間	45	
自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証)				標準的所用時間(試行)	
①					
②					

③	
備考欄	